

札幌市立屯田中央中学校の取組

1 道徳科の指導について

・授業づくりのポイント

ローテーション制度を実施し教材研究や授業準備にあてる時間を充実させる。また、学年に所属する教師全員で授業を行うことにより、生徒の成長や変化への気づき、共通理解を深めることができる。

授業で使用する振り返りシートを作成し各授業で活用することで、生徒が自己の考え方や授業を通しての心の変化を記入する。さらに、前期と後期の終わりに生徒が道徳科の授業の振り返りシートを記入し、心情の変化、成長を実感する。

・多様な学習展開

校内研修会で道徳の研究授業を行い、学習展開の方法について検討した。また、独自の教材を使用した授業を展開したときには、教材やワークシートを保存して、他の先生方も使用できるようにする。

2 道徳科の評価について

・評価の工夫と留意点

ローテーション制度を実施している中で大きくくりな評価ができるように、生徒が授業を振り返るための項目を統一して、授業者がコメントを記入したものを個人のファイルに保存している。また、授業後に授業者が生徒一人一人の学習活動の様子を Excel 上に入力し、評価資料としている。さらに、前期と後期の終わりに、生徒が記入した道徳の授業の振り返りシートを、評価資料としている。

・校内で共通理解を図るための手だて

校内研修会で評価の方法や注意点を確認し、年度途中までに収集した評価資料をもとに評価文を作成した。また、それぞれに作成した評価文について交流を行い、理解を深めた。